

大切な  
甲賀市の自然  
パートII

甲賀市内の  
大切な自然が存在する  
地域について紹介します

●第3回●  
みなくち  
子どもの森

みなくち子どもの森は野洲川と杣川に挟まれた丘陵地帯の一角にあります。広さは34.3ヘクタールで、以前はアカマツが優先するコナラ林でしたが、松枯れがすすみ、現在はコナラを主体とする雑木林に植林され、放置されたヒノキ、スギの林があります。2つの谷があり、それぞれため池があって、谷の奥まで水田があった里山でした。森には昆虫広場など5つのエリアとそれをつなぐ周回道路、観察路がありますが、かつての里山で行われていたように管理されています。

早春、アカガエルや、近年、絶滅危惧種に指定されたカスミサンショウウオが産卵にきます。やがて、オオルリやキビタキの音が森に響き、カワセミがため池の池畔に見られます。クチナシグサ、キンラン、ギンラン、シュロソウなどの花がみられるのもこの頃です。夏、コナラの樹幹に、最近少なくなったアカマダラコガネが確認されています。園路沿いのアキノタムラソウにクロマルハナバチ（滋賀県絶滅増大種）が吸蜜に訪れます。秋、林の中には、籠のようなカゴタケや、猛毒のドクツルタケなどいろいろなキノコがでできます。特別展「キノコを楽しもう」（12月19日(水)～3月9日(日)開催）で紹介します。

里山の生き物は、どこでも見られる普通の生き物とわれてきました。しかし今日では姿を消しつつある生き物が増えているのが現状です。子どもの森は、訪れる人々が、里山の昆虫や植物などの生き物と出会える所なのです。



■キンラン



▲カスミサンショウウオ

12月の  
休園日

3日(月)、10日(月)、17日(月)、18日(火)  
25日(火)、28日(金)～31日(月)  
18日(火)は展示換えのための臨時休園日です。

みなくち子どもの森自然館  
☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は信楽町文化協会から  
お寄せいただきました。

信楽川柳教室 平賀胤寿 選

- ・港にははるか遠くの晝寝です 繁雄
- ・港に上つて我れ夕映之中 美栄子
- ・けんけんのまるを残してゆく港 栄子
- ・南洲像友を呼んでるもや港 かつ子
- ・誰でも握手がしたくなる港 敬

志がらき俳壇

- ・夫の墓心で話し草を引く 内田和子
- ・紙と筆机上で遊ぶ残暑かな 城 宏衛
- ・山門へ行く近路や稲の花 乾 すす
- ・コスモスや庭の隅まで明るくし 片木幸子
- ・青梅の雫の下を通りけり 小谷栄子

地中海信楽グループ

- ・蝮蛇わが闇にまで入り来たり疲れ頭を癒してくれぬ 高井仁波知
- ・詠草がやと纏まり今日送る一ヶ月目の想をこめて 小山平八郎
- ・屋号入った柿洪塗りの番傘にパラパラバタバタ雨の音恋ふ 谷井かつ子

信楽冠句連盟

- ・運命線灼熱の道咲く野花 みどり
- ・運命線我が一生は茶に染る 小燕
- ・白い花無垢で嫁いだ日の日記 弘子
- ・繰り返す悟り切れない経を読む 真路
- ・今一度仕事が出来ぬ切符得て 好湖

次号(2月1日号)は、甲南町文化協会の予定です。